

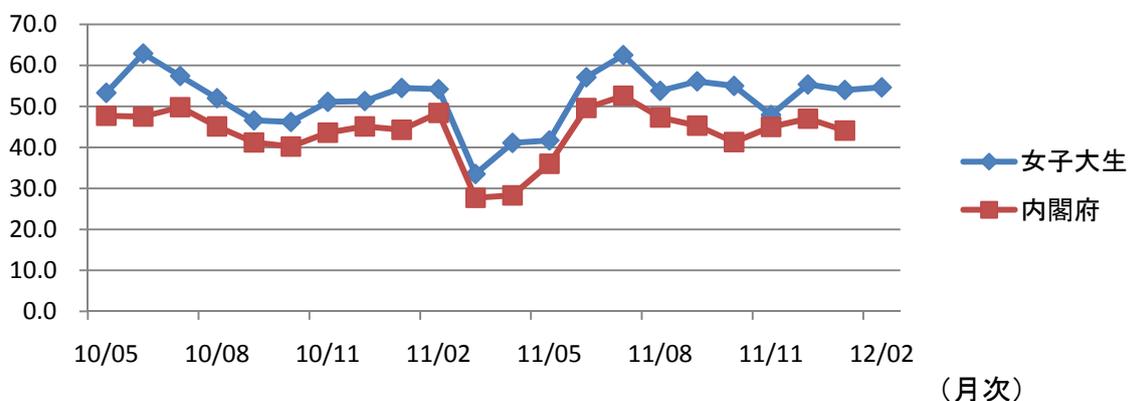
2月の現状、先行とも改善

2月の女子大生景気ウォッチャー調査は、景気の現状判断DI（方向）が54.6となり、前月比0.6ポイント改善した。先行きDIは前月比で7.2ポイントも改善した。景気は緩やかに回復しているという結果だ。

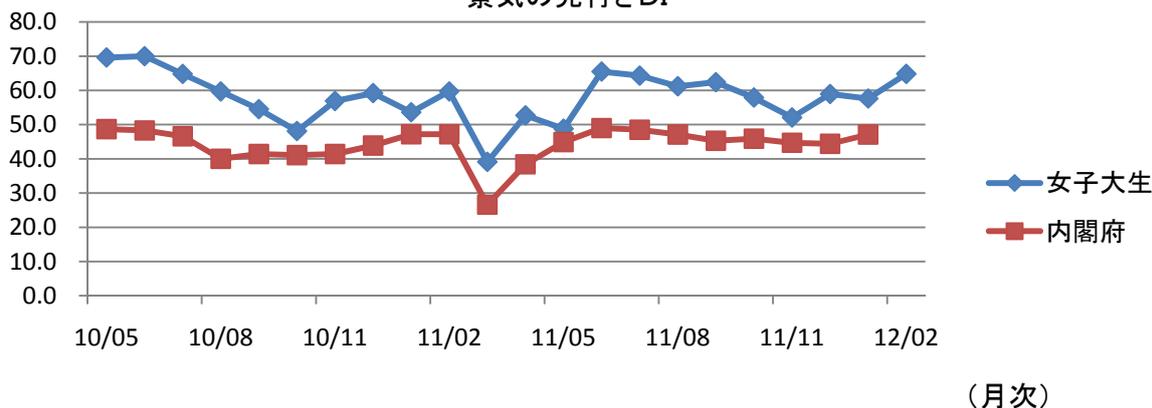
「日経平均株価が7ヵ月ぶりに9800円台になった」というのが代表的な意見。「常にデパートでセールをやっている気がする」「繁忙期なのにも関わらず、売上がさほど伸びない。みんながお金を使わない傾向にある気がする」という景気の低調を伝えるコメントも多い。「野菜が高い」というコメントもあった。

（跡見学園女子大学マネジメント学部教授 山澤成康）

景気の現状DI



景気の先行きDI



景気判断DIは、①良い1点②やや良い0.75点③どちらともいえない0.5点④やや悪い0.25点⑤悪い0点として、それぞれの構成比を乗じて計算する。全員が良いと答えた場合は100、全員が悪いと答えた場合は0となる。